

2004年度  
甲南21クリエイティブ・プラン

## 環境創造活動の推進と

### 環境教育のモデルプログラム・教材の作成

- 伝統文化の継承、省エネルギー・省資源の推進、  
環境ボランティア、ネットワーク化の環境活動から -

甲南大学文学部 谷口ゼミナール  
代表 北村 大輔  
西村 有加里 他30名

# 1. はじめに

環境問題の解決策



「循環型コミュニティの創造」

2001年度

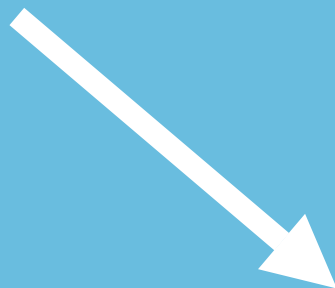
「甲南大学における  
循環型コミュニティの創造」

2002年度

「パートナーシップの構築」

2003年度

「持続可能な」



2004年度

2004年度

# 環境創造活動の推進

## 環境教育のモデルプログラム・教材の作成

環境ボランティアとしての  
環境教育活動

環境創造活動

環境教育の目的：関心、知識、態度、技能、参加、評価能力の必要性

<ベオグラード憲章(1975年)>

教材の作成

{ データベース化  
プログラム・マニュアルの作成  
学内外への発信

→ 環境意識の向上

## 2. プロジェクトの概要

プラン : 伝統文化の継承についての  
モデルプログラム・教材の作成に向けて  
「自給自足生活の体験学習」(2003年度)を発展させて

プラン : 省エネルギー・省資源推進の  
モデルプログラム・教材の作成に向けて  
学内の循環型コミュニティの創造を通して

プラン : 環境ボランティア活動をふまえた  
モデルプログラム・教材の作成に向けて  
学社連携を通して

プラン : 学生会議によるネットワーク化の  
モデルプログラム・教材の作成に向けて  
学内外のパートナーシップを通して

### 3. 実施方法

プラン : 伝統文化の継承についての  
モデルプログラム・教材の作成に向けて

- 「自給自足生活の体験学習」(2003年度)を発展させて -

- (1) 「自給自足生活の体験学習」の教材収集
- (2) 無農薬野菜作りと五穀の栽培と伝統食文化の教材づくり
- (3) ハーブの栽培と野草摘みについての教材収集
- (4) 保存食づくりとエコクッキングレシピづくりの教材収集

# (1)「自給自足生活の体験学習」の教材収集 (食物栽培、飲料水づくり、土づくり、火おこしなど)



住居づくり



土(堆肥)づくり



収穫した野菜



火おこし

(2003年8月)

**体験学習の計画**  
(昨年度の体験学習を発展させて)



**体験学習の実施**  
<教材作成にむけて記録(ビデオ、写真、日誌など)>



**体験学習の見直し**  
<スケジュール、内容、対象学年>



**自給自足生活の体験学習における  
モデルプログラムの作成**

(小・中・高・大学などの発達段階にあわせたモデルプログラムの作成)

## (2) 無農薬野菜づくりと五穀の栽培による

### 「伝統食文化」の教材づくり

#### 無農薬野菜づくり



堆肥による土づくり



野菜植え

(2004年5月8日)



# 例：トマトの生長



5月22日



5月29日



6月20日



6月23日

五穀の栽培(粟、<sup>あわ</sup>麦、<sup>むぎ</sup>豆、<sup>まめ</sup>米、<sup>こめ</sup>黍<sup>きび</sup>または<sup>ひえ</sup>稗)



粟



麦



豆



米(古代米)



黍

(または)



稗

# 五穀の現状報告 ー麦を例にー



5月29日



6月5日



6月23日



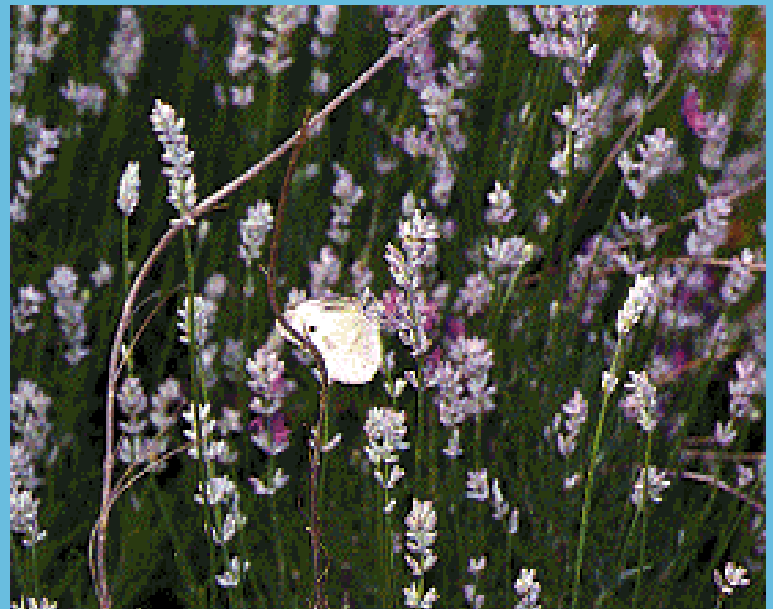
全体の様子(6月23日)

# (3)ハーブの栽培と野草摘みについての教材収集

## ハーブの栽培



ペパーミント



ラベンダー

# 野草摘み



ヨモギ



ゼンマイ



ドクダミ



スギナ

# 例:ドクダミ茶



ドクダミ



乾燥させた葉



ドクダミ茶

# (4) 保存食づくりとエコクッキングレシピづくりの教材収集



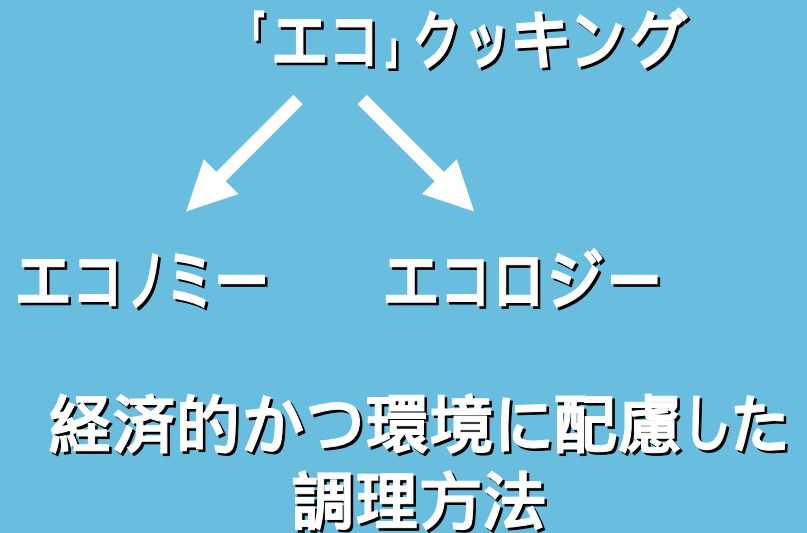
納豆



味噌



エコクッキング(芋のつる)



プラン : 省エネルギー・省資源推進の  
モデルプログラム・教材の作成に向けて  
ー学内の循環型コミュニティの創造を通してー

- (1) リサイクル活動、花いっぱい運動、  
ビオトープの維持・管理(六甲山系の生態系の復元)
- (2) ミミズコンポストの維持・管理とモデルプログラムの試行
- (3) 環境啓発シンポジウムの支援とモデル・ネットワーク



# (1) リサイクル活動、花いっぱい運動、ビオトープの維持・管理

## リサイクル活動とサポートマニュアルの作成



リサイクル容器



情報パック



ポスター

# 省エネルギー活動と調査報告



待機電力測定機

# 花いっぱい運動と事例報告書



花の植替え

(2004年4月21日)

# ビオトープの維持・管理マニュアル(六甲山系の生態系の復元)



住吉川での採取



ビオトープに放流  
(メダカ50匹、タニシ35匹)

(2004年4月16日)

## (2) ミミズコンポストの維持・管理とモデルプログラムの試行



ミミズコンポスト



ミミズの様子

(2004年4月)

### (3) 環境啓発シンポジウムの支援とモデル・ネットワーク



パネリスト  
(第2回環境啓発シンポジウム)  
(2003年6月19日)



専門科目「環境学基礎論」  
受講生による発表  
(第3回環境啓発シンポジウム)  
(2003年12月11日)

**プラン** : 環境ボランティア活動をふまえた  
モデルプログラム・教材の作成に向けて  
ー学社連携を通してー

- (1) 環境教育活動の支援活動プログラムのカリキュラム作成
- (2) 国営明石海峡公園神戸地区における環境ボランティア活動と  
里山モデルプログラムの作成
- (3) 淡路島モンキーセンターへの無農薬のサツマイモの寄贈とサポートプログラム

# (1) 環境教育活動の支援活動プログラムのカリキュラム作成

小学生・中学生・高校生に対する

住吉川環境教育の指導カリキュラム



異年齢での活動



環境教育カウンセラーとして指導

(2004年5月9日)



# 自治会と生協との協働(パートナーシップ)による リサイクル・クリーン活動プログラムの作成



自治会・生協との合同会議  
(2003年10月)

<b>2001年度</b>	
使用数	21,100個
回収数	6,387個
回収率	30.27%

<b>2002年度</b>	
使用数	24,100個
回収数	8,568個
回収率	35.55%

<b>2003年度</b>	
使用数	20,700個
回収数	14,445個
回収率	69.78%

リサイクル容器の回収率

## (2) 国営明石海峡公園神戸地区における 環境ボランティア活動と里山モデルプログラム作成



全体マップ



不耕起農業予定地

国営明石海峡公園神戸地区  
(あいな里山自然公園 240ha)

### (3) 淡路島モンキーセンターへの 無農薬のサツマイモの寄贈とサポートプログラム



無農薬のサツマイモ



奇形ザル

**プラン** : 学生会議によるネットワーク化の  
モデルプログラム・教材の作成に向けて  
ー学内外のパートナーシップを通してー

- (1) 日本・タイ学生フォーラムの開催によるパートナーシップ・モデルの作成
- (2) 国際学生交流によるネットワーク・モデルの作成
- (3) 阪神地区大学・学校の環境ネットワーク作りの教材

# (1) 日本・タイ学生フォーラムの開催による パートナーシップ・モデルの作成 (於: 甲南大学)



日本・タイ学生フォーラム  
(サテライトシンポジウム)



記念撮影

**日本・タイ国際会議**  
環境教育を通じた日本・タイの大学連携  
—カリキュラム、フィールドワーク、人材交流等をめぐって—

**プログラム**

**Thailand**

10:00-10:30 開会式  
10:30-11:00 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
11:00-11:30 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
11:30-12:00 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
12:00-12:30 昼食  
12:30-13:00 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
13:00-13:30 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
13:30-14:00 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
14:00-14:30 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
14:30-15:00 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
15:00-15:30 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
15:30-16:00 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
16:00-16:30 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
16:30-17:00 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
17:00-17:30 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
17:30-18:00 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
18:00-18:30 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
18:30-19:00 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
19:00-19:30 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
19:30-20:00 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
20:00-20:30 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
20:30-21:00 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
21:00-21:30 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
21:30-22:00 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
22:00-22:30 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
22:30-23:00 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
23:00-23:30 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」  
23:30-24:00 基調講演「環境教育を通じた日本・タイの大学連携」

**Japan**

Konan University  
Rajabhat Institute Phrasakhoo

●会 期: 2004年5月19日(土)  
●会 場: 甲南大学(1号館111教室)  
●主 賓: 甲南大学経済社会研究部・学術学園学長 大塚進也 氏、「環境教育の総合的推進」学長 藤原伸也 氏、  
中央教育審議会委員 藤原伸也 氏(「環境教育の推進」)、「地球環境と国際教育」国際会議  
●主 賓: フラナコーン・ラジャバット王立大学 環境教育センター 学長 藤原伸也 氏  
●主 賓: 山本理穂 氏  
●会 費: 100円(資料代)  
●参加費: 1,500円(学生: 2,000円)  
●主催: 甲南大学環境総合研究所、「環境教育と国際教育」国際会議事務局  
〒410-0001 静岡県浜松市東区 甲南大学 学芸学部 111号館  
TEL: 053-431-4200 E-mail: Faculty@konan.ac.jp

日本・タイ国際会議(2004年5月19日)

## (2) 国際学生交流によるネットワーク・モデルの作成

カナダ、カルガリー大学の大学院生との共同調査  
(7月ごろ、淡路島モンキーセンターへ)

## (3) 阪神地区大学・学校の環境ネットワーク作りの教材作成

阪神地区大学(兵庫教育大学、神戸親和女子大学など)への  
学生会議の呼びかけ



環境情報の交換、モデルプログラムの共有化の推進

## 4. 終わりに

# 環境教育のモデルプログラム・教材の作成 —プラン ~ をふまえて—

記録、資料の編集(データベース化)



モデルプログラム・教材・マニュアルの作成



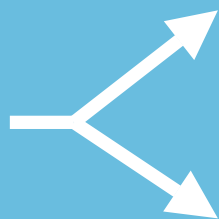
ホームページの作成

冊子の作成



(例) 日本キャンプ協会の冊子

作成した冊子



環境啓発シンポジウム、学生会議で配布

環境教育の補助教材

〔甲南3学園環境教育プロジェクト  
六甲アイランド高校(高大連携)〕



環境意識の向上

インターネット上に公開(学外への発信)  
一般の人々の環境意識の向上



# 環境創造活動の推進と

## 環境教育のモデルプログラム・教材の作成

- 伝統文化の継承、省エネルギー・省資源の推進、  
環境ボランティア、ネットワーク化の環境活動から -

END